

上智大学研究機構 FESTIVAL 第6回

2011 9 | 29 木 10:00 ~ 19:00
四谷キャンパス 2号館

講演 会場—2号館 17階 1702会議室

- ◆政策形成対話の促進—低炭素社会づくり「対話」フォーラムの実践報告 (10:10-10:35)
柳下正治 (環境政策対話研究センター)
- ◆日本企業による温暖化対策を中心とした環境取組の動向：
排出量取引とサプライチェーンに着目した企業サーベイより (10:35-11:00)
有村俊秀 (環境と貿易研究センター)
- ◆上智大学イスラーム地域研究の現在 (13:10-13:35)
私市正年 (イスラーム研究センター)
- ◆在日ブラジル人と宗教活動—集住地域と分散居住地域の比較から (14:30-14:55)
アナ・エリーザ・ヤマグチ (外国語学部ポルトガル語学科)
- ◆日露の相手国イメージのパーセプションギャップについて (14:55-15:20)
上野俊彦 (外国語学部ロシア語学科)

ポスター発表研究概要紹介 会場—2号館 17階 1702会議室

①P1 ~ P12 (11:10-12:10) ②P13 ~ P20 (13:40-14:20)

特別企画 会場—2号館 17階 1702会議室 (15:30-17:30)

『東日本大震災からの復興と再生を考える』
コーディネーター：鬼頭 宏 (地球環境研究所)
基調講演『東北農山漁村の再生…現場からの報告』
講師：あん・まくどなと (国連大学高等研究所いしかわ・かなざわ オペレーティング・ユニット所長/地球環境学研究科非常勤講師)
パネル・ディスカッション『震災復興と日本の進路』
パネリスト：林 直樹 (横浜国立大学大学院環境情報研究院研究員) / 三原 岳 (東京財団研究員/政策プロデューサー)
竹田陽介 (経済学部経済学科) / あん・まくどなと

ポスター発表 会場—2号館 17階 1701会議室 (10:00-15:00)

研究成果発表 20・研究企画発表 3

交流会・ポスターセッション 会場—2号館 5階学生食堂 (17:40-19:00)

学内外の研究者はもちろん、学生、一般の方もご来場下さい (入場無料・予約不要)

四谷キャンパス：JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線・南北線 / 四ツ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩3分

主催：上智大学研究機構

連絡先：上智大学研究機構事務局(研究支援センター) TEL：03-3238-3173 <http://www.sophia.ac.jp/>

知的好奇心に応えるボーダレスの学术交流

第 6 回上智大学研究機構 FESTIVAL

2011 年 9 月 29 日（木） 上智大学四谷キャンパス 2 号館

プログラム

2 号館 17 階 1702 会議室

10:00	開会挨拶：学長
10:10-10:35	講演：政策形成対話の促進—低炭素社会づくり「対話」フォーラムの実践報告／柳下正治（環境政策対話研究センター）
10:35-11:00	講演：日本企業による温暖化対策を中心とした環境取組の動向：排出量取引とサプライチェーンに着目した企業サーベイより／有村俊秀（環境と貿易研究センター）
11:10-12:10	ポスター発表研究概要紹介① （5 分×12 研究グループ：P1～P12）
	昼休憩（1 時間）
13:10-13:35	講演：上智大学イスラーム地域研究の現在／私市正年（イスラーム研究センター）
13:40-14:20	ポスター発表研究概要紹介② （5 分×8 研究グループ：P13～P20）
14:30-14:55	講演：在日ブラジル人と宗教活動—集住地域と分散居住地域の比較から／アナ・エリーザ・ヤマグチ（外国語学部ポルトガル語学科）
14:55-15:20	講演：日露の相手国イメージのパーセプションギャップについて／上野俊彦（外国語学部ロシア語学科）
15:30-17:30	特別企画 『東日本大震災からの復興と再生を考える』 コーディネーター：鬼頭宏（地球環境研究所） 基調講演『東北農山漁村の再生・・・現場からの報告』 ／あん・まくどなると（国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長／地球環境学研究科非常勤講師） パネル・ディスカッション『震災復興と日本の進路』 パネリスト：林直樹（横浜国立大学大学院環境情報研究院研究員）、三原岳（東京財団研究員／政策プロデューサー）、竹田陽介（経済学部経済学科）、あん・まくどなると

2 号館 17 階 1701 会議室

10:00-15:00	ポスター発表 （研究成果発表 20 件・研究企画発表 3 件） 研究機構常設研究部門・時限研究部門・学内共同研究部門等の学内教員の研究成果や研究企画をポスターで発表いたします。
-------------	--

2 号館 5 階学生食堂

17:40-19:00	交流会・ポスターセッション
-------------	---------------

上智大学研究機構では、8学部10研究科を擁し、文系・理系同一キャンパスでの教育研究活動が行われる国際的な総合大学としての特色と利点をさらに活かした研究組織の構築と研究成果の創出をめざして、2006年度より「上智大学研究機構Festival」を開催しております。研究領域を限定せず、これまで取組んで得られた研究成果、またこれから取組もうとしている研究企画の発表を通じて、異なる研究領域の横断的な連携によって新しい知見の創成に挑戦する独創的・先駆的な共同研究を醸成することを目指しております。万障お繰り合わせのうえ奮って御来場下さい。

連絡先：上智大学研究機構事務局
（研究支援センター）
TEL：03-3238-3173

ポスター発表一覧

番号	研究代表者	所 属	研 究 課 題
P1	岸野克己	理工学部 機能創造理工学科	規則配列 GaN ナノコラム LED と発光色制御
P2	岡田邦宏	理工学部 物質生命理工学科	イオントラップと ECR イオン源を用いた星間物理学の研究
P3	安増茂樹	理工学部 物質生命理工学科	遺伝子の多様化とタンパク質の機能進化
P4	板谷清司	理工学部 物質生命理工学科	無機系短繊維の表面処理による炭化ケイ素複合材料の高機能化
P5	藤田正博	理工学部 物質生命理工学科	イオン液体を用いたマイクロマシンの開発
P6	下村和彦	理工学部 機能創造理工学科	共鳴トンネルダイオードを用いた光アナログ／デジタル変換回路に関する研究
P7	後藤貴行	理工学部 機能創造理工学科	有機超伝導体・高温超伝導体における磁束状態と安定化の新展開
P8	桑原英樹	理工学部 機能創造理工学科	制御された格子欠陥を利用した新規機能性物質の創製
P9	笹川展幸	理工学部 情報理工学科	神経系細胞の情報伝達機構に及ぼす新規生物毒の作用機序—ヘビ毒ホスホリパーゼ A2 のクロマフィン細胞に対する作用—
P10	長尾宏隆	理工学部 物質生命理工学科	イオン液体中におけるルテニウム錯体を用いた二酸化炭素の変換
P11	遠藤明	理工学部 物質生命理工学科	極低温多核 NMR を用いたルテニウム二核錯体の混合原子価状態の検出—ルテニウム錯体の合成—
P12	大槻東巳	理工学部 機能創造理工学科	トポロジカル絶縁体と超伝導体

番号	研究代表者	所 属	研 究 課 題
P13	マウロ・ネーヴェス	イペロアメリカ研究所	グローバル化時代のラテンアメリカ女性演劇の展開
P14	鄭基淑	グローバル・コンサーン 研究所特別研究員	国際交流を基盤とした地方自治体の国際協力
P15	村田真一	ヨーロッパ研究所	東日本大震災とヨーロッパ—社会・生活・政治・法律の視点から—
P16	私市正年	アジア文化研究所	ナショナリズム復興のなかの文化遺産—アジア・アフリカのアイデンティティ再構築の比較—
P17	有村俊秀	環境と貿易研究 センター	地球温暖化対策税による企業・家計への影響分析
P18	田淵六郎	総合人間科学部 社会学科	「総合人間科学」の構築に向けて：「語り」をめぐる学際的研究の可能性
P19	田中裕	文学部哲学科	創造と調和：共生の知の探求：文明の未来に向けて
P20	杉野誠	経済学研究科 特別研究員	国際競争力に配慮した軽減措置対象業種の算定
K1	佐藤直子	中世思想研究所	中世における信仰と知
K2	中野晃一	グローバル・コンサーン 研究所	Education with a Social Dimension
K3	増井志津代	アメリカ・カナダ研究所	アメリカと大西洋世界：アメリカ像の環大西洋的構築を目指して

※P：研究成果発表、K：研究企画発表